患者のための薬局ビジョン推進事業　献血時の検査成績通知票等を利用した 薬局機能強化の取り組みについて

（一社）佐賀市薬剤師会

百々　史和

1. 背景と目的

平成３０年２月５日に厚生労働省で行われた「平成２９年度かかりつけ薬剤師・薬局推進指導者協議会」について、佐賀県薬務課と佐賀市薬剤師会で行った佐賀市内薬局における「献血時の検査成績通知票等を利用した薬局機能強化の取り組みについて」共同発表を行ったので報告する。

1. 方法

この事業を行う事前準備として、関係機関（佐賀市薬剤師会、佐賀県赤十字血液センター、佐賀市医師会など）への説明と佐賀市薬剤師会会員薬局等に対する事業説明会に１２０名が参加され、そのうち佐賀市内１０７薬局が参加となった。事業実施中に相談に来局された方にアンケートを行い、中間報告を集計した。

1. 結果

【アンケート内容】

（相談者） 献血適合者、献血不適合者

・当該事業の覚知方法 （リーフレット、ポスター、知人から 等）

・薬局に対するイメージ （調剤、市販薬の販売、健康相談 等）

・今回の相談が役に立ったか

・本事業が薬局に立ち寄るきっかけとなったか

・今後、献血結果を持参し健康相談を継続したいか

・かかりつけ薬局の有無

・今後、薬局に期待する機能

（未献血者） 献血結果を持参せず、本事業に関心を持ち来局した者

・当該事業の覚知方法 （リーフレット、ポスター、知人から 等）

・献血の経験 （献血未経験の場合はその理由）

・献血結果を持参して健康相談を行いたいか

・薬局に対するイメージ （調剤、市販薬の販売、健康相談 等）

・かかりつけ薬局の有無

・今後、薬局に期待する機能

以上について、アンケート集計を行い、一例として相談者に対して、薬局側より受診勧奨を行った例があった。通院をされ再検査を行うこと事例があった。

1. 考察

佐賀市及び近隣市町からの相談のほか、他地域から拡大の要望もあり、当該事業の効果はあると考えられる。

1. 結語

今後、佐賀県下で行うこととなっており、今回のアンケート集計結果が一助となればと思います。